

公立病院改革プランの概要

団体名		宮城県涌谷町					
プランの名称		涌谷町町民医療福祉センター改革プラン					
策定日		平成 21年 3月 19日					
対象期間		平成 21年度 ~ 平成 25年度					
病院の現状	病院名	涌谷町国民健康保険病院					
	所在地	宮城県涌谷町涌谷字中江南278					
	病床数	121床(一般80床、医療型療養病床41床)					
	診療科目	内科、外科、整形外科、消化器科、循環器科、泌尿器科、眼科、皮膚科、麻酔科、神経内科、肛門科					
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付		<p>これまで実施してきた涌谷町国民健康保険病院の機能と役割は、今後もこれまで同様にサービスを継続し、住民の健康づくりから、病気の予防・早期発見・早期治療・悪化予防・再発予防・継続療養・リハビリテーション、介護及び福祉事業まで総合的なお手伝いをいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括医療・ケアの継続、推進 ・保健・医療・福祉・介護の連携強化(保健・福祉・介護と連携した継続的・総合的医療の推進) 					
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付		<p>一般会計が負担する基本的な考えは、涌谷町町民医療福祉センターシステム構想の理念である包括医療の実践と継続、機能の維持と充実にある。そのために一般会計は応分の負担をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の財産として病院建設に企業債を充て取得しているので、企業債の元利償還金額。 ・地方交付税基準財政需要額のうち病院が設立されたことにより算定される額。 ・を基本とし緊急的、予測できない事実が発生した場合は、町長と管理者が話し合いをし決定した額。 					
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	経常収支比率	95.6%	89.2%	88.6%	99.9%	103.2%	
	職員給与費比率	46.4%	51.9%	52.9%	49.5%	48.0%	
	病床利用率(一般病床)	97.7%	92.5%	91.3%	92.5%	93.8%	
	病床利用率(療養病床)	88.3%	87.8%	87.8%	90.2%	92.7%	
	医業収支比率	95.8%	88.2%	87.6%	96.2%	99.4%	
	医薬品比率	25.3%	24.3%	24.0%	24.5%	24.5%	
上記目標数値設定の考え方		入院日数の比較的少ない外科系や整形外科系の入院患者の確保が必要となる。現時点での医師数や患者動向から見ても早期改善は至難であるが、早急に医師確保を図り、目標に向け努力する。また、19年度からスタートした特定健診などを積極的に行い、患者の確保に努める。					

						団体名 (病院名)	涌谷町 (涌谷町国民健康保険病院)			
公立病院としての医療機能に係る数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考			
健診センター機能の充実			803	1,600	1,700	1,850	特定健診 (単位:人)			
在宅医療の推進		647	652	655	657	660	医師確保要 (単位:件)			
地域医療連携室の充実			1,070	1,225	1,470	1,500	相談業務 (単位:件)			
数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期 経営効率化に係る計画	民間的経営手法の導入	病院基本理念実現のための目標の設定と評価 人事評価制度の実施 患者満足度調査の実施 カード決済システムの検討								
	事業規模・形態の見直し	地方公営企業法の全部適用 看護体制の検討 事務系専門職の確保								
	経費削減・抑制対策	職員定数の適正化 アウトソーシングの再検討 介護福祉士・介護員の給与体系の見直し 委託に係る複数年契約の実施 ジェネリック医薬品の積極的な導入								
	収入増加・確保対策	在宅医療の充実 特定健診、人間ドック、各種がん検診を積極的に展開 使用料手数料の見直し 入院単価のアップ 原価計算の導入								
	その他	町民医療福祉センター及び関連施設の整備、補修、改修計画 医療福祉センターの建物、設備などの補修・改築計画の策定 医師住宅の改築計画 医療機器の計画的な更新と導入								
	各年度の収支計画	別紙1のとおり								
その他の特記事項	病床利用率の状況	17年度	97.4%	18年度	95.3%	19年度	94.5%			
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	平成19年10月から入院基本料10:1を取得したため、今後の病床利用率は低下が予想されるが、出来る限り利用率の向上に努めると共に、基本料の柔軟な見直しも視野に入れる。また、建築後20年を経過しているため、病室のリフォームなども検討し快適な入院が出来るよう計画する必要もある。								

		団体名 (病院名)	涌谷町 (涌谷町国民健康保険病院)
再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	大崎市民病院(本院・岩出山分院・鹿島台分院・鳴子温泉分院)、涌谷町国保病院、公立加美病院、美里町立南郷病院の7つの公立病院。7施設とも救急告示医療機関である。他に5施設の民間病院が救急告示医療機関となっている。	
経営形態見直しに係る計画	都道府県医療計画等における今後の方向性	民間病院や診療所との連携強化はもちろん、近隣市町村の医療機関との機能分化や連携も必要。大崎医療圏東部地域の機能分化や連携のあり方についても今後検討が必要。	
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	< 時 期 > 未定	< 内 容 > 二次医療圏内の中核病院や自治体病院、開業医との連携が今後大切となる。当院は大崎医療圏・石巻医療圏・登米医療圏の中核病院の丁度中間に位置し、その中核病院などからの退院後の受け皿としてリハビリ目的の患者の受け入れが多くなっている。また、介護施設や診療所などとの連携も重要な事から、当院の地域医療連携室と他の医療機関との連携を密にして行く。
点検・評価・公表等	経営形態の現況 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法財務適用 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合 <input checked="" type="checkbox"/> 地方独立行政法人
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 民間譲渡 <input type="checkbox"/> 診療所化	<input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	< 時 期 > 平成22年4月1日を目指に公営企業法全部適用に移行	< 内 容 > 条例や規則の制定の準備作業。
	点検・評価・公表等の体制(委員会等を設置する場合その概要)	涌谷町健康と福祉の丘運営委員会をベースに「ガイドラインの点検・評価委員会(仮称)」を設置し、医療に対する安心・信頼の確保や適切な医療サービスの提供、そして本計画の実施状況などを点検・評価を行い、その結果について広く住民に公表する。	
	点検・評価の時期(毎年 月頃等)	点検毎年6,7月頃。評価7,8月頃。公表10月以降	
	その他特記事項		

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収入	1. 医業収益 a	1,881	1,998	1,819	1,830	1,963	2,033	
	(1) 料金収入	1,735	1,836	1,672	1,676	1,743	1,813	
	(2) その他の	146	162	147	154	220	220	
	うち他会計負担金	59	70	70	70	130	130	
	2. 医業外収益	122	98	98	95	160	165	
	(1) 他会計負担金・補助金	99	76	76	73	138	143	
	(2) 国(県)補助金	3	1					
	(3) その他の	20	21	22	22	22	22	
	経常収益(A)	2,003	2,096	1,917	1,925	2,123	2,198	
支出	1. 医業費用 b	1,884	2,086	2,053	2,087	2,041	2,045	
	(1) 職員給与費 c	841	927	944	968	971	975	
	(2) 材料費	603	670	606	629	620	620	
	(3) 経費	334	383	412	400	360	360	
	(4) 減価償却費	106	106	91	90	90	90	
	(5) その他の							
	2. 医業外費用	106	107	88	85	85	85	
	(1) 支払利息	62	58	55	52	45	45	
	(2) その他の	44	49	33	33	40	40	
	経常費用(B)	1,990	2,193	2,141	2,172	2,126	2,130	
経常損益(A) - (B)		(C)						
特別損益	1. 特別利益(D)							
	2. 特別損失(E)	1	12					
	特別損益(D) - (E)	(F)	-1	-12	0	0	0	0
純損益(C) + (F)			-1	-12	0	0	0	0
累積欠損金(G)		325	434	667	915	918	850	
不良債務	流動資産(ア)	860	737	515	535	572	600	
	流動負債(イ)	97	96	80	90	90	90	
	うち一時借入金							
	翌年度繰越財源(ウ)							
	当年度同意等債で未借入又は未発行の額(I)							
	差引不良債務{(イ)-(ア)} - {(ウ)-(ア)-(ウ)}	(オ)						
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$		100.7	95.6	89.5	88.6	99.9	103.2	
不良債務比率 $\frac{(イ)}{a} \times 100$								
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$		99.8	95.8	88.6	87.7	96.2	99.4	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$		44.7	46.4	51.9	52.9	49.5	48.0	
地方財政法施行令第19条第1項により算定した資金の不足額(H)								
資金不足比率 $\frac{(H)}{a} \times 100$								
病床利用率		95.3	94.5	90.9	90.1	91.7	93.4	

団体名 (病院名)	宮城県涌谷町 (涌谷町国民健康保険病院)
--------------	-------------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
		(実績)	(実績)	(見込)			
収入	1. 企 業 債			61			
	2. 他 会 計 出 資 金						
	3. 他 会 計 負 担 金						
	4. 他 会 計 借 入 金						
	5. 他 会 計 補 助 金						
	6. 国(県)補助金						
	7. そ の 他						
支出	収 入 計 (a)	0	0	61	0	0	0
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)						
	前年度許可債で当年度借入分 (c)						
	純計(a) - {(b) + (c)} (A)	0	0	61	0	0	0
支出	1. 建 設 改 良 費	14	34	85	22	33	33
	2. 企 業 債 償 還 金	118	99	95	96	99	109
	3. 他会計長期借入金返還金						
	4. そ の 他						
差引不足額	支 出 計 (B)	132	133	180	118	132	142
	(B) - (A) (C)	132	133	241	118	132	142
補てん財源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	132	133	241	118	132	142
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額						
	3. 繰 越 工 事 資 金						
	4. そ の 他						
	計 (D)	132	133	241	118	132	142
補てん財源不足額 (C) - (D) (E)		0	0	0	0	0	0
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)							
実質財源不足額 (E) - (F)		0	0	0	0	0	0

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	(実績)	(実績)	(見込)			
収 益 的 収 支	(28,804) 157,294	(24,949) 146,109	(27,000) 146,000	(25,000) 143,000	(25,000) 268,000	(25,000) 273,000
資 本 的 収 支	() 6,347	() 0				
合 計	(28,804) 163,641	(24,949) 146,109	(27,000) 146,000	(25,000) 143,000	(25,000) 268,000	(25,000) 273,000

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。